

こども・若者・女性

認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ

理事長 丸山文子
住所 栃木県宇都宮市(※番地は非公開)
電話 028-621-9993
会員数 正会員125名 5団体 賛助会員137名 3団体
法人設立年 2001年 認定 2004年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000077>

ホームページ <https://www.womenshouse.org/>

X



★ 設立の趣旨

1996年に民間シェルター(DV被害者保護施設)としてスタートした「ウイメンズハウスとちぎ」は、設立当初から「あなたといっしょに歩きます」を合言葉に、活動を続けてきました。私たちは常に“女性の人権を守る”という視点を大切にしています。会員の皆さんの思いを受け、県や市町、各種団体、弁護士や医師と協力して、暴力被害で傷ついた女性と子どもが力を取り戻していくための支援を続けてまいります。

★ 事業の内容等

①暴力被害に悩む女性の相談と支援

夫や恋人からの暴力や性暴力に悩む女性からのご相談を、電話・面接・訪問などで随時受け付けています。暴力被害を受けた女性の安全を守り、心と身体の回復と自立に向けた支援を行っています。

②女性への差別や暴力のない社会を目指すための提言や啓発

DV(ドメスティック・バイオレンス)をはじめとする女性への暴力や差別の防止に向け、冊子やDVDなどの啓発資料を制作しています。会報「ういめんず」の発行やホームページ・SNSを通じて、相談窓口の紹介、暴力に気づくための情報などを発信し、社会全体のDV理解と防止に取り組んでいます。

③暴力被害女性に関するネットワークづくり

暴力被害を受けた女性の自助グループを支援するほか、県や市が策定するDV防止基本計画の委員会などにも参画しています。また、「全国女性シェルターネット」や「日本フェミニストカウンセリング学会」と連携し、県内外で女性支援ネットワークを構築しています。

④女性のための居場所の運営

宇都宮市の「つながりサポート女性支援事業」を受託し、生理用品などの配布や出張相談会の開催、女性のための居場所「まいまいルーム」の運営を行っています。

★ 私たちが提供できること

①企業等への講師派遣

DV・性暴力防止や被害者支援の一環として、企業向けの研修会への講師派遣を実施しています。また、中学生から大学生を対象とした「デートDV防止セミナー」「性暴力防止セミナー」など、若い世代に向けた啓発活動にも力を入れています。

②企業や行政職員のためのDV相談窓口

DV・性暴力・セクハラ・パワハラ防止対策の一環として、職員のための相談窓口を担い、必要に応じて専門機関や弁護士、医師などと連携しています。

③支援物資の収集と配布

企業や団体から寄付された生活用品、生理用品、子どもへのクリスマスプレゼントなどを、支援が必要な女性やその子どもたちに届けています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

DV・ストーカー・性暴力など女性に対する暴力は、被害を受けた女性に命の危機や深刻な心の傷をもたらします。危険にさらされた女性や子どもには、安全な居場所と、安心できる支援が不可欠です。地域で安心して生活を始めるためには、多くの人々の理解と支援が求められます。

こうした支援活動は、終わりのない地道な取り組みです。私たちは、この課題とともに向き合い、支援の輪を広げてくださる企業や団体の皆様との協働を心より願っています。



私たちは、DVや性暴力被害女性の
相談支援を行っている
民間の支援団体です。

NPO法人宇都宮子ども劇場

理事長 菅原朋子
住所 〒321-0165 栃木県宇都宮市緑2-33-10
電話 028-680-4005
会員数 正会員80名 賛助会員10名
法人設立年 2001年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000066>

メールアドレス info@ukg.jp
ホームページ <https://www.ukg.jp/>
ブログ <https://ameblo.jp/u-kg/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

宇都宮市民及び隣接する市町村の住民に対して、幼児、青少年、大人を対象に文化活動・社会活動の機会の拡充と振興を図ることによって、子どもの豊かな成長に寄与することを目的としています。

1974年に任意団体を立ち上げて以降、子どもの豊かな感性を養い、年齢と地域を超えた子ども間の交流と仲間づくりを進めるために、優れた舞台や音楽の鑑賞などの文化活動や遊びを中心とした体験活動などの事業を実施しています。

★ 事業の内容等

①子どもの活動事業

乳幼児から高学年まで、年齢を超えたつながりのある活動を作っています。
様々な世代を超えた仲間とともに活動できるイベントを企画し、子どもたちの今を応援する活動をしています。

②舞台鑑賞活動

年に数回プロの劇団や芸術家を招き鑑賞会を開催しています。

③文化・育成事業

子どもの健全育成につながる講演会の開催などを企画しています。

④広報活動

⑤各分野の芸術・文化団体との連携及び各分野の非営利団体との交流

★ 私たちが提供できること

①企業イベント支援

企業の祭りやイベントなどで公演を行うなど、子どもたちに活躍の場を提供したり、従業員が親子で企業イベントに参加するきっかけ作りを提供できます。

②鑑賞会・体験活動企画

これまでの活動で得た鑑賞会企画のためのネットワークや現代の子どもたちに足りない体験活動企画のノウハウを提供できます。

③子育て中のママ向けワークショップ開催

働いている子育て中のママたちにワークショップを開催し、リフレッシュの場を提供しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

生の舞台を親子や友達と一緒に鑑賞する機会を大切にしています。心揺さぶられる鑑賞活動や、仲間たちと力を合わせ喜びを分かち合う体験活動の積み重ねが、子どもたちのコミュニケーション能力や、人への信頼感を育みます。一緒に鑑賞会やイベントなどを企画したり、ご支援いただきたいと思います。



NPO法人KHJとちぎベリー会

理事長 森あき子
住所 〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和2-3-5
電話 028-627-6200
会員数 正会員68名 賛助会員7名
法人設立年 2009年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000467>

メールアドレス mail1@khj-tochigiberry.com

ホームページ <https://khj-tochigiberry.com/>

★ 設立の趣旨

当法人は、平成14年にひきこもりなどに悩む子どもを持つ家族の会として活動を始め、勉強会や学習会、講演会などを行っています。これらの活動により、まず家族が社会との関わりを取り戻し、元気になること、それにより当事者に良い影響を及ぼし、当事者が回復に向かうこと、また、不登校やひきこもりについて社会一般の理解を得るよう、講演会などで啓発することを目的として活動しています。

★ 事業の内容等

- ①ひきこもり当事者及び当該家族のためのメンタルヘルスケア
家族のための月例会、講演会、学習会、個別相談、訪問サポートなどを提供しています。
- ②ホームページ、講演会などによる啓蒙普及
ホームページでの情報発信、講演会の開催などを通じて、ひきこもり問題への理解と啓蒙普及に努めています。
- ③相談・情報提供
グループ相談会、個別相談、講演会などの開催により対応しています。
- ④当事者の居場所
カフェ苺屋での居場所体験、カフェ苺屋や若者フェスタなどでの就労体験による社会性習得の機会を提供しています。
- ⑤当事者及び家族のためのレクリエーション
当事者及びその家族の関係作りの促進を目的とした、キャッチボールや季節の行事などを実施しています。

★ 私たちが提供できること

就労支援・自立支援といった若者を支援する仕組みがある中で、当法人の活動は専門的な相談業務を行うとともに、当事者の家族が深い悩みに陥る前のセーフティーネットとしての活動を展開しています。これらの活動で培ったノウハウを提供することができます。皆様の理解が深まることが協働の大きな一歩と考えています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

企業などに対し、ひきこもりや不登校からの回復について、これまでの活動から得た対応などに関する出張講話を行えます。



認定NPO法人青少年の自立を支える会

理事長 福田雅章
住所 〒320-0037 栃木県宇都宮市清住1-3-48
電話 028-666-6023
会員数 正会員132名 賛助会員146名
法人設立年 1999年 認定 2002年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000022>

メールアドレス sasaeru@snow.ucatv.ne.jp
ホームページ <https://www.jiritsu.org/>
ブログ <https://www.jiritsu.org/news/>

★ 設立の趣旨

義務教育終了後又は高校中退し、就労しないなど不安定な生活をしている青少年に対して、自立に関する相談・援助事業を行い、児童福祉に寄与することを目的としてスタートしました。

★ 事業の内容等

①青少年の自立に関する相談・援助
とちぎユースアフターケア事業協同組合と連携して、社会的養護のもとで育った170名に対し、相談対応を行っています。(令和6年度はやり取り1084件、相談603件)

②自立援助ホーム「星の家」の運営、児童自立生活援助
義務教育終了後や高校中退で就職し、自立を強いられた児童養護施設などの子どもたちが、職を、そして生活拠点を失った際の拠り所となり、再スタートを切れるまでの間、生活支援を行います。

③ファミリーホーム「はなの家」の運営(小規模居住型児童養育事業)
里親や児童養護施設で養育実績のある方が、自宅で5、6人の子どもを養育する事業です。はなの家では中学生以上の男の子が生活しています。

④居場所づくり事業
宇都宮市の「要支援児童健全育成事業」として養育環境がきちんと機能していない家庭環境にある小学生・中学生に対して放課後の勉強や遊び、食事、入浴などの生活援助を行っています。学校に迎えに行き、終了後は自宅に送り届けます。

⑤バザー、チャリティコンサート
バザー「星の家祭り」、「青少年の自立を支える会コンサート」を実施し、活動費の一助と

しています。

★ 私たちが提供できること

- ①虐待防止に向けた啓発活動
「子ども虐待をなくそう！ 県民のつどい」やシンポジウムの開催、虐待防止パネルの作成(栃木県と協働)などを行ってきました。
- ②子ども支援に取り組む団体・企業への支援
事業で培ったノウハウを子どもの健全育成に取り組もうとする企業や団体に対し情報提供や講師派遣ができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①児童虐待防止のための普及啓発活動にご協力をお願いします。
- ②バザーへの参加にご協力をお願いします。企業や従業員の皆様の出品・ご参加をお待ちしています。収益は、家庭や保護者からの手助けが得られない青少年の自立支援に活用されます。
- ③チャリティコンサートへの参加及び広報にご協力いただきたいです。従業員の皆様への情報発信やイベントへのご参加をお願いしています。
- ④ボランティアに挑戦したい方を歓迎しています。ぜひご参加ください。



認定NPO法人チャイルドラインとちぎ

理事長 福本佳之
住所 〒320-0837 栃木県宇都宮市弥生1-6-3
電話 028-614-3253
会員数 正会員61名 支援会員60名 15団体
法人設立年 2004年 認定 2013年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000193>

メールアドレス info@cltochigi.org

ホームページ <https://www.cltochigi.org/>

Facebook



Instagram



X



★ 設立の趣旨

「子どもが主体の、子どもの最善の利益を実現するために、こころの居場所をつくり、受けとめた声を基に子どもが生きやすい社会をつくる」というミッションを掲げ、「子どもの権利条約」の理念を基本として活動をしています。

子どもが生きやすい社会をつくるために、電話やチャットの相談を通して見える社会課題や、子どもたちの状況を社会に発信し、また、行政・企業・団体とも連携・協働することにも取り組んでいます。

★ 事業の内容等

①子どもの声を聴く事業

電話相談のほか、オンラインチャットでも子どもの声を聴いて寄り添っています。相談の受け手となる人への研修や、受け手を支える人への研修も実施しています。

また、県内の18歳までの子ども※(小学生・中学生・高校生・専門学校生)に向けて、チャイルドラインの告知カードの配布を行っています。

※チャイルドラインでは、18歳までを子どもと定義しています。

②地域社会への啓発

公開講座を開催するほか、イベントなどへの参加による広報活動、広報誌や実施報告書を作成しています。

★ 私たちが提供できること

①子どもの心に寄り添う支援ノウハウ

子どもたちが持つ悩みや喜びを傾聴し、支援する方法などについて、当法人は多くのデータと実績を有しています。

②講演会の開催及び講師派遣

企業の従業員、子育て中の方、子どもに関わる仕事やボランティアに従事されている方などを対象に、傾聴の実績とデータに基づいた「子どもへの寄り添い方」をお伝えする講演会を開催したり、講師を派遣したりしています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

電話やチャットの受け手となるボランティアの研修に力を入れています。ボランティアの方々が安心して子どもたちの声に向き合える体制を整えていますので、あなたもぜひ「チャイルドライン」の受け手になりませんか。



認定NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク

代表理事 岩井俊宗
住所 〒320-0862 栃木県宇都宮市西原1-3-4 (aret)
電話 028-612-1575
会員数 正会員47名 賛助会員26名 20団体
法人設立年 2010年 認定 2025年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000496>

メールアドレス ysn_office@tochigi-ysn.net
ホームページ <https://tochigi-ysn.net/>



★ 設立の趣旨

私たちの社会が生み出した課題は、私たち自身が解決できると信じ、若者の挑戦と成長を支え、地域と個人をつなぐコーディネーターとして活動し、若者の力を活かした地域の課題解決・活性化を加速させていきます。

★ 事業の内容等

- ①若者による地域を良くするスタートアッププログラム「iDEA→NEXT」
社会を良くするアイデアの実装化に向けて半年間の伴走支援を実施しています。
- ②情報発信事業「あしかもメディア」
自分の身近にある魅力的なヒト・コト・モノ・シゴトに目を向けるきっかけや「明日いいことあるかも」という前向きな気持ちを育もうと、栃木県の魅力的資源を発信しています。
- ③若者コミュニティ「よりも」
若者が安心してチャレンジできる居場所です。学校や会社の枠を飛び越えて、とにかく何かの活動をやってみたい若者から具体的にカタチにしたいアイデアのある若者が集うコミュニティです。

★ 私たちが提供できること

- ①若者と現場をつなぐ連携・協力サービス
若者の力を活用して、組織や地域に変化を生み出し、課題解決を加速させたい企業や団体との連携を促進します。若者たちの力を借りたい時、若者が参画できる機会・企画をおつくりします。
- ②若者向けの情報発信・広報支援
若者目線で企業や活動の魅力を深掘りし、次世代を担う若者たちに伝わる記事を執筆します。
- ③プロジェクト型学習の企画・運営
若者の力を活かした地域の課題解決・活性化、ソーシャルビジネス起業、課題解決型人材育成、組織間連携・協働・コーディネート、非営利型組織の運営・マネジメント、主体性を高めるワークショップなどのノウハウを提供します。
- ④県内大学と連携し、社会人・企業の学び直しプログラムを実施しています。
- ⑤会員・支援者の皆様には、定期的に活動によって生まれた若者たちのプロジェクト進捗報告会をご案内できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①とちぎユースサポーターズネットワークは若者の力を活かして地域の課題解決・活性化を促進するための活動をしています。
若者の力を活かして新たな価値創出をしていくために、インターンシップやメディアへの記事掲載、研修実施などについてのご相談を随時受け付けております。
- ②プログラムに参加したい方はもちろん、「どんなことしているんだろう？」とユースに興味を持ってくれた方も大歓迎です。ホームページに現在参加できるプロジェクトとともに、プロジェクト以外のことについてお話したい方へ向けた情報もご紹介しています。ぜひご覧ください。



新しい物語は、
とちぎの
ここからはじまる。



NPO法人とちぎユースワークカレッジ

理事長 横松陽子
住所 〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町2003-3
会員数 正会員14名 賛助会員2名
法人設立年 2013年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000642>

メールアドレス info@youthworkcollege.com
ホームページ <https://www.youthworkcollege.com/>
ブログ <http://blog.canpan.info/tywc/>

★ 設立の趣旨

子どもや若者に対して、社会的孤立の解消と就職活動支援に関する事業を実施するとともに、支援を広げるための支援者育成の事業や、社会的孤立の問題についての啓発事業も行っていきます。

★ 事業の内容等

①若年無業者のための通所型支援

日光市の事業所にて、体験、集団活動、社会教養を柱としたとちぎユースワークカレッジを運営しています。メンバーが通いながら関係性を高め、人との関わりを学び直す場となっています。もともと人との関わりが苦手な若者は、関係性が生まれ、人と関わる意味を感じることで、自己肯定感が高まっていきます。

②若年無業予防のための事業

相談対応事業を行っています。

③支援者育成

若者支援に取り組みたい方に向けて、個別支援を行っています。

④啓発事業

社会的孤立や若者支援の現状の講演、原稿執筆及びテレビ、ラジオに出演しています。

★ 私たちが提供できること

①回復プログラムの提供

引きこもりの支援策として「社会性」「意欲」「自尊心」の回復プログラムを実施しています。これらのプログラムは社会で生きていくうえで必要な力であり、企業などが行う新人研修や青少年研修向けとしても提供できます。

②リーダー育成研修

「やめない人材」を育成するための、リーダー向け研修を提供できます。

③青少年理解のための教育プログラム

青少年の現在を理解するプログラムを提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①引きこもり経験者を体験入社で受け入れてみませんか？

企業の人材不足にも効果があると考えています。

②ワークシェアを取り入れてみませんか？

働き方にワークシェアを導入することで、短時間から働きたい若者や、自宅で介護や子育てを行っている人材を受け入れ、働きやすい社会、トライできる社会と一緒に目指していきましょう。

③伝統工芸の担い手に若者の力を活用してみませんか？

職人的に黙々と作業ができる若者がいます。若者と一緒に技術を残していきましょう。



NPO法人栃木おやこ劇場

理事長 松本春美
住所 〒328-0037 栃木県栃木市倭町14-1 (小江戸ひろば北蔵)
電話 0282-21-8776
会員数 正会員110名
法人設立年 2001年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000079>

メールアドレス info@tochigiyoako.jp

ホームページ <https://tochigiyoako.jp/>

YouTube https://www.youtube.com/channel/UCPZjV8aOvkRwaAgnN_b3fUQ

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

「とびっきり子ども時代を！」を合言葉として活動しています。全国に多数存在するおやこ劇場・子ども劇場の一つです。少子高齢化や核家族化が問題視される現代において、栃木おやこ劇場は、様々な人との様々な活動を通じて、より良い地域社会を作り、子どもという未来を輝かせることを目的としています。また、家族だけでは経験しにくい特別な体験を、子どもと大人と一緒に作り、感動を共有できるような活動を提供することを目指しています。

★ 事業の内容等

①舞台鑑賞事業

年間を通じて、お芝居、音楽、パフォーマンスなど多岐にわたる分野の舞台芸術作品を鑑賞する機会を、身近な地域に提供します。

②体験活動事業

体、頭、心をフル活用して遊ぶ活動で、舞台鑑賞で得られた感性をアウトプットし、感性の幅を広げることを目指しています。

③文化教養研修事業

「こども・遊び・文化」をテーマに、学習会を開催し学び合います。

また、栃木市の歴史と文化にも触れ、教養を深めるための文化活動を行います。

④広報活動事業

パンフレットの発行や劇場ニュースの発行、SNSの発信を通じて、活動の情報を発信しています。

⑤各分野の芸術文化団体との協働事業又は他団体との交流

他の団体と協力してイベントを開催しています。「蔵の街忍者現る!」、「百鬼夜行」、「サマーフェス」、「歌麿まつりにて、和綴じの帳面づくり」、「子どもが創るあそびのまち:ミニとちぎ」、「ハロウィン」、「栃木山車祭り」などのイベントを行っています。

★ 私たちが提供できること

① 舞台芸術の紹介・仲介

首都圏を中心にした子ども劇場関連のネットワークにより、情報を収集・整理することで、乳幼児・児童向けを中心に、青年・大人たちに演劇・音楽・人形劇などの舞台鑑賞作品の紹介・仲介することを提供できます。

②親子で楽しめる体験活動の提供

防災段ボールキャンプ・スノーキャンプ・忍者・サイエンス・自然体験・マルシェ(縁日)など、親子で体験できる「場」を提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

親子や仲間と一緒にできるイベントの企画などを一緒にしたいと思います。



認定NPO法人だいじょうぶ

理事長 畠山由美
住所 〒321-1261 栃木県日光市今市1659-10
電話 0288-21-2119
会員数 正会員87名 賛助会員75名 9団体
法人設立年 2005年 認定 2016年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000254>

ホームページ <http://www.npo-daijobu.com/>

Facebook



Instagram
(あそびのにわ)



★ 設立の趣旨

団体の目的は児童虐待の終止です。今起きている虐待を止めること、虐待に至らないように予防することを目的としています。そのために子育てに困難を抱えている家庭に寄り添い、話を聴き、必要な支援をしています。

★ 事業の内容等

①虐待防止・発見のための相談事業

日光市と協働で相談業務にあたっています。行政だけでは児童虐待の対応に限界を感じた市の職員が、虐待対応に特化した民間団体を作ろうと広く市民に呼びかけてできたのが「だいじょうぶ」です。1日24時間いつでも子どもや親のSOSに応えられるようになりました。現在では、相談ケースの情報が共有化され、日光市の家庭児童相談室に市の職員とだいじょうぶの職員が机を並べて相談対応にあたり、連携を深めています。また、支援へのつながりもスムーズにできています。

②子どもの保護に関する事業

虐待だけでなく、親の育児疲れ、入院など、様々な理由で保護が必要な子どもをお預かりしています。地域で子どもの預かりを行うことで、保護中も元々通っていた学校、保育園に通えるようになります。親にとって、緊急時に子どもを預けられる、頼れる実家のような役割を担っています。

③虐待防止に関する研究事業及び政策提言

2012年より毎年、虐待行動に至ってしまった親のための回復プログラム「MYTREEペアレント・プログラム」を実施しています。プログラム受講前後のアンケートによる効果測定から、有効性が確認できています。また、虐待などで傷ついた子どもの心に寄り添い、自尊感情を回復させる関わりを子どもの居場所で実施、子どもの居場所連絡協議会で情報共有を行っています。

④子どもが健全に育つ環境づくりを支援する事業

子どもの人権が守られ、当たり前のお生活をおくれるように子どもとその家庭を支えています。

ます。具体的には、「子どもの居場所事業(子ども第三の居場所「あそびのにわ」)」、「育児・家事訪問支援事業」などがあります。「親と子の居場所」は子どもにとってはもう一つの家、おばあちゃんちのような所。お母さんにとっては優しい実家のような所です。

★ 私たちが提供できること

①子育ての孤立防止に向けた啓発活動

子育てを孤立させないように親や地域向けにお話しすることができます。

②講師派遣

虐待、子育てなどについての話や、貧困の中にある子どもの現状の話、お父さんお母さん向けの子育てのノウハウなどについて、講師派遣が可能です。

③親や子ども、家庭への相談支援

④「だいじょうぶ応援団」でのPR

「だいじょうぶ応援団」に入りませんか? 「だいじょうぶ」が作成する広報物などに企業名などを掲載することで、子どもや親の支援に関心のある家庭にやさしい企業であることをPRできます。

⑤支援の現場体験の提供

実際に困っている人に関われる現場を提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①企業や団体の開催するイベントにブース(子育て相談など)を出したいです。

②企業や団体の開催するイベントに子どもたちを連れて参加して、楽しい経験を体験してもらいたいです。

③「だいじょうぶ」のイベント(夏祭りなど70名程度参加)に出店してもらいたいです。実際の子どもの様子を見て、できることを一緒に考えてもらえると嬉しいです。

④企業の窓口に募金箱やプログラムのチラシなどを置いていただけませんか?

知ることが子どもたちの支援につながります。

⑤製造過程の不具合などで、流通に回せない製品を、子どもたちに提供していただけませんか?

⑥子どもたちが安心して生活し、生活リズムを保てる寮や下宿をやってみたい。不動産業などのノウハウのある方、一緒に活動してみませんか?

⑦子どもたちの社交場「駄菓子屋さん」を開いてみたいです。協力できる方をお待ちしています。



NPO法人なんとなくのになわ

理事長 手塚郁夫
住所 〒321-1261 栃木県日光市今市378
電話 090-3227-7079
会員数 正会員48名 賛助会員13名 3団体
法人設立年 2005年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000224>

メールアドレス info@nantonakuno.net
ホームページ <http://nantonakuno.net/>

★ 設立の趣旨

子どもたちが集まり、ゆっくり過ごすことのできる「子どもの居場所」。みんなの自主性を大切に、地域に根ざした新しい学びの場をめざします。「学校に通うことを強制せず、子どもたちに寄り添い、多様な生き方を応援できたら」、「親が交流できる場所があったら」、「学校以外のもうひとつの学びの場を作りたい」と集まった大人たちが2004年6月に始めました。

★ 事業の内容等

①子どもの居場所の提供と学びの場の運営

日光市とその周辺地域に住む子どもや青少年に対し、学習や自立支援、及び地域への啓発活動を行っています。ゆったりと過ごせる時間と空間の確保、子どもたちの意見や要求に基づいた活動、雑談会、楽器練習、ミーティング、ゲームなどを通じたコミュニケーション、個別学習援助の充実などを行っています。

②IT環境を活用した学びの支援

ホームページの公開・定期的な更新により、居場所や活動の紹介などの情報発信を行っています。会報のPDF版提供も行っていきます。

③教育や福祉についての相談・情報提供活動

不登校相談や教育に関する悩み相談に随時対応しています。

④障がい理解及び啓発に関する企画運営事業

毎月第2月曜日の午前10時からお昼まで「子どもの居場所」にて「茶話会」を開いています。これは子育ての悩みを気軽に話し合う場となっています。不登校関連の勉強会も実施しています。

⑤第二種社会福祉事業の相談支援事業の経営

相談支援専門員が放課後等デイサービスの利用を終了した方などへ、家族、事業所の協力のもとで、安心して生活できるように対応しています。

★ 私たちが提供できること

①青少年や障がいのある人の自立支援・就労支援

「ひきこもり相談センター・かがやき」や「NPO法人だいじょうぶ」などの地域支援団体との連携を取り、就労支援見学会の開催、「引きこもる子どもを持つ親の会」との話し合いや、障がいのある人の自立に関する相談に対応しています。自立支援・就労支援のノウハウがあります。また、家庭環境の相談にも応じられます。

②自然体験プログラムの企画・運営

自然環境の活動や、自然体験のプランづくりを提供できます。

③自然環境の中での学びと自然環境保全の啓発活動

「今市の水を守る市民の会」と共催し、川の生き物調査「川むしたんけん隊」を5月に足尾(神子内川)、10月に明神(行川)で実施しました。さらに、環境測定班による放射能測定も随時継続しています。自然体験イベントや、環境測定活動への参加・協賛を通じて、環境保全・CSR活動の共同実施が可能です。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

従業員やその家族に対し、発達障がい者への理解と、対応方法を学ぶ機会を提供することで、企業での障がい者への理解・就労促進につなげたいと考えています。



NPO法人子どもの育ちを支える会 さくらネット小山

理事長 高橋弘美
住所 〒323-0807 栃木県小山市城東2-26-10
電話 0285-37-7976
会員数 正会員11名 賛助会員54名 25団体
法人設立年 2016年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000747>

ホームページ <https://sakuranet-oyama.com/>

★ 設立の趣旨

地域には支援資源が乏しく、家庭環境が悪化する様子を多く目にしてきた経験から、「地域で支援できる居場所をつくりたい」という想いで、NPO法人を設立しました。虐待、貧困、不登校、障がい、外国籍など、様々な困難を抱えて暮らす子どもたちの成長を支える活動に取り組んでいます。

★ 事業の内容等

①子どもの居場所づくり事業

小山市から委託を受け、子どもの居場所「おひさま」を運営しています。保護者の子育てを補完し、健全な家庭の教育を経験させることで成長と自立を促します。無料の学習支援も定期的に開催しています。困難を抱える子どもたちにとって、「おひさま」は「2番目の家」という位置づけです。子どもたちには、宿題や食事、入浴や洗濯などの支援のほか、あいさつや言葉遣いなどの基本的な生活習慣も身に付けられるように教えています。また、子どもや保護者を対象とした調理活動のほか、配食事業にも力を入れています。

②児童自立生活援助事業

「自立援助ホームさくらの家」を運営し、児童相談所が入居を決定した義務教育修了後の子どもを受け入れています。入居後は大学進学や就労を支援し、自立に向けた生活をサポートしています。

③生活応援事業

企業や団体からの寄付品を、支援が必要な子どもやそのご家族に提供しています。

④相談事業

市の家庭相談員やスクールソーシャルワーカーと連携し、相談内容により、物品の提供や育児相談などに対応しています。また、支援家庭にお弁当を届ける配食事業を行うことで、保護者の孤立を防ぎ、虐待予防につなげています。

⑤地域のネットワークづくり

民生委員・児童委員、自治会、その他の関係団体と連携し、寄付やボランティアなどによる支援体制の構築に取り組んでいます。

⑥普及・啓発、研修会の企画運営事業

栃木県子どもの居場所連絡協議会の事務局として、子どもの居場所担い手育成事業を受託し、居場所スタッフや地域住民を対象とした研修会の企画・運営を行っています。

★ 私たちが提供できること

①子どもの居場所づくりに関する研修会・啓発活動

子どもの居場所づくりの普及・啓発を目的に、企業や各市町の自治会、団体を対象に研修会や啓発活動を行っています。

②寄付品の収集と提供

企業や団体から寄せられた学用品や食料品、季節の行事に合わせたプレゼントなどの寄付品を受け入れ、支援を必要とする子どもたちやそのご家族に届けています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①子どもたちが置かれている実情を地域の方々に発信することで、次第に協力者が増えてきています。活動に賛同してくださった企業や団体から様々なご支援をいただき、また、地域の大学からは、教員や心理職を目指す学生さんがボランティアとして継続的に子どもへの支援に関わってくださっています。

今後、企業や団体の方にご協力いただきたいこととして、子どもたちが自由にのびのびと遊べる場所を提供していただけたとうれしいです。子どもの居場所は平屋で手狭なため、子どもたちが自由に走り回れません。そのため、企業の体育館などを開放していただけたらありがたいです。

②子どもたちの“体験の貧困”も深刻です。新幹線や飛行機に乗る、映画や音楽に触れるなどの経験を通して、進路や将来へのイメージを広げてもらいたいと思っています。「本物の体験」をサポートしていただける方をお待ちしています。

地域全体で社会的養育が必要な子どもを支える機運が高まってほしいと願っています。



NPO法人とちぎ多胎ネット

理事長 南部裕子
住所 栃木県小山市(※番地は非公開)
会員数 正会員15名 1団体 賛助会員3名
法人設立年 2023年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000918>

メールアドレス tochigi.tatai@gmail.com
ホームページ <https://tochigi-tatai.jimdofree.com/>



★ 設立の趣旨

多胎育児の経験者だから分かる、多胎育児をみてきたからできる、そういった支援があるのではないかと思います。「とちぎ多胎ネット」を立ち上げました。妊娠した時からつながり孤立させず、寄り添いながらの支援を目指しています。

★ 事業の内容等

- ①多胎プレファミリー教室(オンラインで年4回開催)
ふたご・みつごを妊娠されたご家族向けの教室です。多胎妊娠の基礎知識やマイナートラブルの対処法などについて、助産師による講話を行っています。
また、先輩パパの育児体験談を聞く機会の提供や、先輩ファミリーとの交流会を行っています。
- ②多胎交流会 毎月第2・第4水曜日10:00~12:00(予約不要)
小山市桑市民交流センター(マルベリー館)子育て支援室で開催しています。
年2回、多胎家庭同士の交流会を兼ねたフリーマーケットを開催しています。妊婦さんとそのご家族も参加可能です。
- ③多胎支援啓蒙活動
妊娠届時に「とちぎ多胎ネット」カードを行政窓口で配布しています。
多胎育児情報や社会資源についてホームページやSNSで発信しています。
栃木県内の多胎情報がわかるオープンチャット「栃木ふたご・みつごinfo」を開設しています。その他、多胎育児・支援についての講演を行っています。

★ 私たちが提供できること

- ①大学との連携(宇都宮共和大学・自治医科大学)
学生にとって多胎児・多胎家庭と交流する実習の場になっています。
多胎家庭は外出が困難で孤立しがちですが、学生ボランティアが参加してくれることで、安心して交流会やイベントに参加することができます。ボランティアの場を提供できます。
- ②小山市との連携
現在は小山市から多胎交流会の定期開催場所を提供していただいています。
開催場所をご提供いただければ、多胎交流会を開催できます。
また、小山市の多胎家庭交流会へピアサポーター(多胎育児経験者)を派遣しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①企業の福利厚生に多胎支援を導入したいと考えています。
例えば、多胎プレ教室の実施、ピアサポーター利用券、産後ドゥーラ(産後の母親のためのサポート)利用券など。企業向けに多胎育児勉強会、多胎育児の基礎知識や父親の育児休暇の取得についてなど。
- ②『栃木県はいちごだけじゃない!「ふたご・みつご」も良く育つ!!』
とちぎの「いちご・ふたご・みつご」を合言葉に、子育てするなら栃木県と思ってもらえるような地域づくりを一緒にやっていきたいです。



NPO法人発達支援 飛翔のもり

理事長 宇梶志郎
住所 〒323-0012 栃木県小山市羽川925-4
電話 0285-20-0238
会員数 正会員10名
法人設立年 2003年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000154>

メールアドレス rizumu@mist.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.rizumuen.com/>

★ 設立の趣旨

当法人は、障がいのあるお子さまのためのサービス提供事業所です。就学前のお子さま、就学児(高校生まで)を対象とした療育・生活訓練・デイサービスなどを行い、福祉の増進に寄与することを目的としています。

★ 事業の内容等

①通所支援事業

- ・児童発達支援:就学前のお子さまを対象とした療育サービスです。
- ・放課後等デイサービス:小学生から高校生までを対象とした生活訓練やデイサービスを提供します。

通所支援事業所は3カ所あり、幼児・未就学児中心の「リズム園」、特別支援学校に通う児童・生徒対象の「森のリズム園」、小学校・中学校の特別支援学級に通う児童・生徒対象の「花のリズム園」に分かれています。

②相談支援事業

お子さまの抱える課題の解決や適切なサービスの利用に向けた支援をしています。福祉サービス利用のための計画の作成、モニタリング、必要な情報提供等を行います。

③保育所等訪問支援事業

障がいのある子どもが通う保育所や幼稚園、小学校などに訪問支援員が出向き、子どもが集団生活に適應できるように専門的な支援を行うサービスです。

④研修事業

専門家を講師に招き、障がいに対する理解を深め、お子さまへの支援充実を目的とした研修会を随時実施しています。また、職員の資質向上にも力を入れています。

★ 私たちが提供できること

①療育支援

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援を行っています。0歳～高校生までのお子さまが対象となります。保育所等の訪問支援では、児童発達支援管理責任者や言語聴覚士など多職種の専門職員が連携し、保護者や関係機関からの要望に応じています。「うまく歩けない」「言葉が遅い」「落ち着きがない」「理解が遅い」など、お子さまの発育や養育のことで相談の場を提供できます。

また、専門家による発達相談なども提供できます。

②専門家による研修会の開催

専門家を講師として招き、障がいに対する理解を深め、お子さまへの支援の充実を目的として、研修会を提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

企業や他団体の皆様とは、高校生の就労支援の一環として、会社見学や就労体験などのサポートを一緒に行えるとありがたいです。子ども一人ひとりに様々な障がいがある中で、共生社会の難しさを感じることもありますが、企業や地域の皆様が障がいをもつ子どもたちにフランクに接していただくことで、障がいへの理解も深まると信じています。

園では体験できない企業訪問や社会見学など、子どもたちが多様な経験を積めるよう、他団体と協働していきたいと考えています。



NPO法人ハロハロラボ

代表理事 小川美穂
住所 〒321-4357 栃木県真岡市下大沼1-19-4
会員数 正会員21名
法人設立年 2023年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000913>

メールアドレス hello.halolab@gmail.com

ホームページ <https://www.hello-halolab.org/>



★ 設立の趣旨

私たちは、子どもたちが多様性を重んじ自分で選択できることで、自己肯定感をあげ、生きやすい社会を作ることを目的としています。子どもを中心に多世代でつながる、コミュニケーションの場、学習・体験の場として、2021年からオンラインの居場所を提供しています。これにより子どもたちの健やかな成長を促すとともに、自己肯定感を高め生き抜く力をもち、積極的に社会に参画していけるようになることを目指しています。

★ 事業の内容等

①子どもの居場所提供

旧中村南小学校や真岡鐵道久下田駅「さくらホール」などを利用し、子どもたちが多様な学びを得る場や、栃木県内のフリースクールと協働したフリースクールフェスティバルなどを実施しています。シニア世代の方との交流で、一緒に料理をする活動なども行っています。学校に登校していない・している、障がいがある・ないに関わらず、それぞれを尊重し、つながる場をみんなで作っています。

②オンラインによる子どもの居場所提供

オンラインにて子どもの居場所づくりを実施しています。Zoomやメタバースでつながる場、投稿でつながる場、ゲームなどでつながる場、他団体とつながる場など、お子さんたちの興味・関心に近い、好きな事でつながる場を目指しています。

③ウェブサイト・メディアを用いた情報発信

HP・Note・X・Instagramを利用し、積極的に情報発信しています。

④人材育成にかかわる事業

若い世代が未来の子どもたちを育むための活動を支援し、大学生のインターンシップやボランティアを受け入れています。また、幼稚園児・小学生・中学生・高校生・大学生の交流事業も実施しています。

★ 私たちが提供できること

①一人ひとりを尊重する場づくり

学校に登校していない・している、障がいがある・ないに関わらず、一人ひとりを尊重する場の作り方を一緒に考えることができます。場づくりのノウハウをお伝えできます。

②子ども支援

お子さんたちの声を聞き、好きなことを楽しむ方法を一緒に考えることができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①学校に通いづらさのあるお子さんたち、障がいのあるお子さんたちの社会科見学や職業体験などを実施したいと考えています。

農業、工業、商業など、自団体だけではできない体験を子どもたちに体験させてもらえる団体と一緒に活動できることを希望します。

②高校生・大学生・地域の若者のインターンシップやボランティアを受け入れたいと考えています。



NPO法人風車

理事長 渡邊翔太
住所 〒329-2162 栃木県矢板市末広町19-2(フリースペース風の家)
電話 080-1073-2269
会員数 正会員10名 賛助会員32名
法人設立年 2017年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000782>

メールアドレス kazaguruma1023@gmail.com

ホームページ <https://kazaguruma-yaita.jimdofree.com/>

★ 設立の趣旨

NPO法人風車は、人々が互いに助け合い、支え合い、安心して平等に暮らせる地域をつくることを目的として1992年から活動を行っています。
「フリースペース風の家」を拠点に様々な活動をしております。

★ 事業の内容等

①子育て支援、障害者及び高齢者に対する支援事業

不登校に悩む親子、障がいを持つ子どもや若者たちの居場所活動、元教職員や、学生による子どもたちのための学習支援のほか、ひな祭り・こどもの日・バーベキュー・クリスマス会・お餅つきなどのイベント事業も行っています。

②地域活性化事業

「フクワクわんぱく広場」では、花の種まき・かまどでのご飯炊き体験・自然体操・魚のつかみ取り・コスモス畑作り・手作りかかしまつり・竹トンボづくりなどを実施しています。また、子ども未来館で行われる地域イベントへのボランティア協力なども行っています。

③子ども食堂の運営管理事業

子ども食堂の食材として使う野菜の収穫作業のほか、ふれあい食堂(TAKIBI)・風の家食堂を運営しています。

④フードバンク事業

支援を必要とする子どもがいる家庭に対して、食品配布会を行っています。

★ 私たちが提供できること

①子どもとの関係づくり

子どもとの関わり方を伝えられます。

②自己肯定感を高める支援

自己肯定感を高める方法をお伝えできます。

③自然体験活動の提供

里山や田んぼでの体験活動ができます。

④地域交流・ボランティア活動の推進

地域の方との交流として、耕作放棄地を活用したボランティア活動を行っています。
お花畑の会(ボランティアグループ)、山縣農場花畑(山縣有朋記念館)、ぶらぶらクラブ(高齢者ボランティアグループ)、AKICHI(子どもの外あそび支援ボランティア団体)、一般社団法人まちづくり矢板、フリースクールチャレンジハウス、佐貴歯科医院(風の家建物提供)の他、行政や市社会福祉協議会などと連携しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①フードバンク活動の食品寄贈のために回収ボックスの設置をお願いしています。

企業の方にも、回収ボックスを設置し、食品の回収にご協力いただきたいと思います。お気軽にお問い合わせ下さい。

また、子どもたちの社会参加の入り口として、企業見学会や、職業体験の場をご提供いただくなど、ご協力をお願いいたします。

②「フリースペース風の家」では、高校生・大学生がボランティア活動を行っています。ボランティアに興味がある企業の方にもご参加いただきたいと思います。



NPO法人青二才

代表理事 鈴木祐磨
住所 〒329-0511 栃木県下野市石橋779-1
会員数 正会員13名
法人設立年 2023年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000906>

メールアドレス info@aonisai.net
ホームページ <https://aonisai.net/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

私たち「特定非営利活動法人青二才」は若者たちが地域に参画し、地域で活躍する機会をつくり続けていくことで、人やモノやコトがより支え合い、つながりあいながら、より良い地域の実現を目指していきます。

自身のことを未熟と卑下する「青二才」な存在である若者たちが、地域とつながり、居場所や出番を獲得していくことを通して、可能性に満ち溢れる「青二才」な存在となり、結果まちづくりに繋がる社会を創っていくために若者たちの居場所と出番の溢れる地域をキーワードに、事業展開しています。

★ 事業の内容等

①若者支援事業 高校生もしもプロジェクト

若者の居場所づくりとして、ポップアップカフェ「どろっぷ」を運営しています。
若者の出番づくりとして、地域のお祭りやイベントでの若者参画を推進しています。

②しもつけUターン促進事業(下野市委託事業)

若者の地域活動促進のため、地域活動団体による若者の受け入れを支援しています。
SNSやパンフレット作成による若者の地域活動に関する情報発信や、下野市内企業でのインターンシップなどを実施しています。

③かみのかわ高校生プロジェクト(上三川町委託事業)

地域と連携しながら、高校生が主体となり、町を盛り上げる企画実施の伴走支援を行っています。

④地域づくり事業

下野市市民活動センターの指定管理、「シェアスペースWEL」の共同管理・運営、東方台地コミュニティ推進協議会の管理運営協力、下都賀地区ふれあい学習推進委員、「子どもの居場所づくり」に携わっています。

★ 私たちが提供できること

①若者と地域の連携

若者の主体性を引き出し、地域活動へ参画させるための実践事例やノウハウを提供します。

②子どもの居場所づくり

子どもたちが安心して過ごせる居場所作りの方法に関する知見を提供できます。

③行政との連携・協働

自治体からの委託事業や指定管理事業を通じて得られた、行政との連携に関する知見を提供できます。

④ネットワーク

栃木県内を中心とした、小学生から若手社会人世代にわたる幅広い若者のネットワークを提供できます。下野市、上三川町、栃木県庁などとの間で橋渡しをすることができます。さらに下野市を中心とした地域住民とつなぐこともできます。

⑤プロジェクト企画・運営

若者向けのプロジェクトについて、企画、広報、運営するノウハウを提供できます。

若者と大人、地域住民と行政といった異なる立場の人々が対話する場を円滑に進めるファシリテーションスキルを活かし、若者の主体性を引き出すための対話や伴走支援のノウハウを提供できます。

⑥施設管理のノウハウを提供

下野市市民活動センターや「シェアスペースWEL」といった施設の指定管理・共同運営に関するノウハウを提供できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①地域の大人と中学生・高校生が対話する場を通したキャリア教育プログラムを実施したいです。

②中学生から大学生を対象とした職場体験プログラムを行いたいです。

③企業での学生インターンプログラムに取り組みたいです。



NPO法人みんなのカタチ

理事長 栗田しのぶ
住所 〒321-3622 栃木県芳賀郡茂木町大字北高岡44
会員数 正会員10名
法人設立年 2021年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000871>

メールアドレス ホームページにメールフォームがあります。

ホームページ <https://aiueo-hoiku.jimdofree.com/>

Facebook
(空と森のようちえん)



Instagram
(空と森のようちえん)



★ 設立の趣旨

自然の中でありのままの自分になる。みんな違ってみんないい。
大人も子どもも十人十色。
世の中には、いろんな考えやいろんな想いが満ちあふれています。
生き方や考え方の正解はひとつではありません。
気持ちを大切に、大人も子どもも [ありのまま] を認め合える場を目指しています。

★ 事業の内容等

- ①18歳未満の子ども及びその保護者を対象とした保育・教育活動事業
1歳児からの子どもと保護者を対象に、里山や田んぼなどで野外保育・野外教育活動を実施しています。
- ②野外活動事業及び自然環境教育事業
小学生以上を対象に、自然と触れ合い様々な疑問を抱かせる野外教育活動「やっぱり！はっけん！」を実施しています。
- ③子育て支援事業
親子で参加する子育て広場「やっほう」や、子育ての悩みを話せる場「おはなし会」を実施しています。
- ④野外活動に関する講習会・イベントなどの企画開催事業
保護者を対象とした研修会や、多様性を軸とした教育活動における有識者を講師とした講話を行っています。

★ 私たちが提供できること

- ①子どもとの関わり方の伝達
子どもとの接し方や関係づくりのノウハウについて、講習会や研修の形で提供できます。
- ②野外教育活動に関する講習会
自然の中での学びを活かした野外教育活動のノウハウについて、講習会や研修の形で提供できます。安全管理やプログラム設計などのノウハウも共有できます。
- ③自然体験活動の提供
子どもたちが自然と触れ合いながら学べる体験活動を提供しています。季節や地域に応じたプログラムの企画・実施が可能です。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

企業から保育ボランティアを派遣いただき、野外保育活動にご参加いただきたいと考えています。子どもたちの自然体験を支えると同時に、企業の社会貢献活動としても意義のある取り組みになると思います。地域とのつながりや子育て支援への理解を深める機会にもつながります。
企業からの保育ボランティアの方々と一緒に野外保育を実施したいと思います。



NPO法人いちかい子育てネット 羽ばたき

理事長 永島朋子
住所 〒321-3404 栃木県市貝町大字続谷1143-3
電話 090-3533-6521
会員数 正会員21名 賛助会員68名
法人設立年 2013年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000661>

メールアドレス habataki_ichikai_0_100@yahoo.co.jp

ホームページ <https://www.i-habataki.org/>

Facebook



Instagram



★ 設立の趣旨

羽ばたきでは、地域で人々に寄り添う身近な子育て支援、高齢化を視野に入れた多世代交流をすすめ、誰もが心地よく住みやすい地域づくりを目指して活動を行っています。身近な存在として地域の人々に寄り添う子育て親支援「安心してゆっくり過ごせるサロン」「充実した時間を過ごす放課後児童クラブ・地域活動」「自然豊かな里山を体験できる環境教育」などを行っています。

★ 事業の内容等

①きぼうの丘学童クラブ

旧校舎の広々とした校庭や、教室を活用した学童クラブです。手作りおやつで食への関心を高めたり、学年を越えた友達づくりを目指します。挨拶ができ、思いやりのある児童を育てます。

②自然体験プログラム

「サンバの里いちかい」には、「発見！体験！感動！」が待っています。地域と触れ合いながら、五感を使って楽しめるプログラムを実施しています。

③地域食堂

子どもたちも大人も、みんなが楽しくごはんが食べられる場所を運営しています。

④市貝町ファミリーサポートセンター

お子様の一時預かりや送迎などのサービスを提供し、子育てを応援します。

⑤子ども第三の居場所「はばたきっず」

「はばたきっず」は誰でも気軽に過ごせるみんなの居場所です。小学生はもちろん、中学生・高校生も、大人もおじいちゃんもおばあちゃんも自分らしくいられる、地域の居場所づくりを行っています。

⑥いちいはな駅前こども食堂

子どもが一人でも来られる場所です。地域の色々な人と、ご飯を食べながら交流できます。ボードゲームや、学習ができるスペースがあります。中学生・高校生の参加もお待ちしております！

★ 私たちが提供できること

①地域協力による子育てサポート

「居場所」の役割が重要になる中、地域の方々から様々なご協力をいただきながら子育て支援をしています。その経験を活かし、企業や団体の従業員、その家族向けの子育てのサポートにつなげることができます。

②自然体験イベントの企画・開催

自然体験プログラムでは、地元の農業法人との協働で、子どもたちに田植え体験などを提供いただいています。自然体験イベントの企画・開催ができます。

③ 地域食堂と地域との連携

「地域食堂」や、「いちいはな駅前こども食堂」には、地域の方、企業の方から食材などの寄付をいただいております。寄付のお気持ちを形にできます。

④地域住民の活動促進

ファミリーサポートセンターを通じて、地域の子育てを応援する活動に、地域の方が参加できる機会を提供しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①企業によっては福利厚生メニューとして、ファミリーサポートセンターの利用料負担を加えていただいております。利用者が増えれば、広く子育て世代にファミリーサポートセンターの存在が周知できます。ぜひ職場の福利厚生メニューに取り入れていただき、情報発信にご協力ください。

②敷地内にある森のエリア、希望の丘では、定期的な草刈りにご協力いただける方を求めています。子どもたちの活動エリアを広げ、遊びながら自然体験ができる環境づくりにご協力ください。(子ども第三の居場所や子ども食堂での小学生・中学生への学習サポート、学習の見守り、一緒に遊ぶなど。)

③その他、企業の方からのお申し出に基づき、ボランティア活動メニューについて検討いたします。ご相談をお待ちしています。

